



3

第3期菊川市  
まち・ひと・しごと  
創生人口ビジョン  
& 総合戦略



KIKUGAWA

第3次菊川市総合計画  
〈令和8年度～令和15年度〉

# 目次



本文中の「\*」印の付いた用語は、冊子 4 参考資料の「用語集」に解説を掲載しています。

## 1 はじめに・基本構想

### 第1章 はじめに

第1節 第3次菊川市総合計画策定の趣旨	2
第2節 計画の構成・期間	
1 計画の構成	3
2 計画の期間	4
第3節 菊川市を取り巻く環境	
1 社会情勢	5
2 現況・特徴	8
3 市民意識	23
4 市民からの提案	34
5 まちづくりの課題	40

### 第2章 基本構想

第1節 まちの将来像	44
第2節 目標人口	47
第3節 将来の都市構造	49
第4節 政策の大綱	52

## 2 魅力を高める基本目標

### 第3章 魅力を高める基本目標

| みんなでつくる未来の菊川市 ..... 2

#### 第1節 総論

1 SDGs について	6
2 各魅力目標に紐づく政策と SDGs の関係	8
3 「魅力を高める基本目標」を強化する6つの視点	10

#### 第2節 魅力を高める基本目標別の取組

1 魅力目標別の記載内容の見方	12
魅力目標 1 次世代	14
2 安心	24
3 幸福	28
4 快適	42
5 躍動	54

## 3 第3期菊川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン & 総合戦略

### 第4章 第3期菊川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン&総合戦略

| みんなでつくる未来の菊川市 ..... 2

#### 第1節 人口ビジョン

1 人口ビジョンの概要	6
2 人口分析	7
3 目指すべき将来の方向性	14
4 目標人口	15

#### 第2節 総合戦略

1 総合戦略の概要	17
2 数値目標と体系図	19
3 施策の基本的な方向	22
4 年代別・ライフステージの取組一覧	34

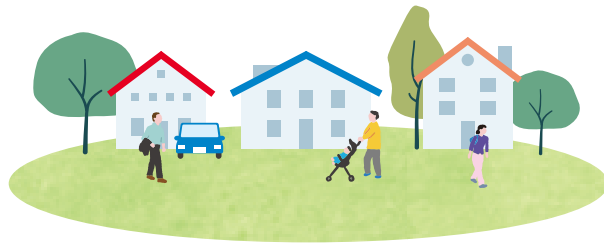
## 4 参考資料

### 第5章 参考資料

用語集	2	諮問・答申	20
策定体制	13	政策指標一覧	22
策定経過	17		

## 第4章

# 第3期 菊川市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン&総合戦略



# みんなでつくる未来の菊川市

## 1. 計画の構成・期間

1 はじめに・基本構想 | P3～

### 総合計画のしくみ

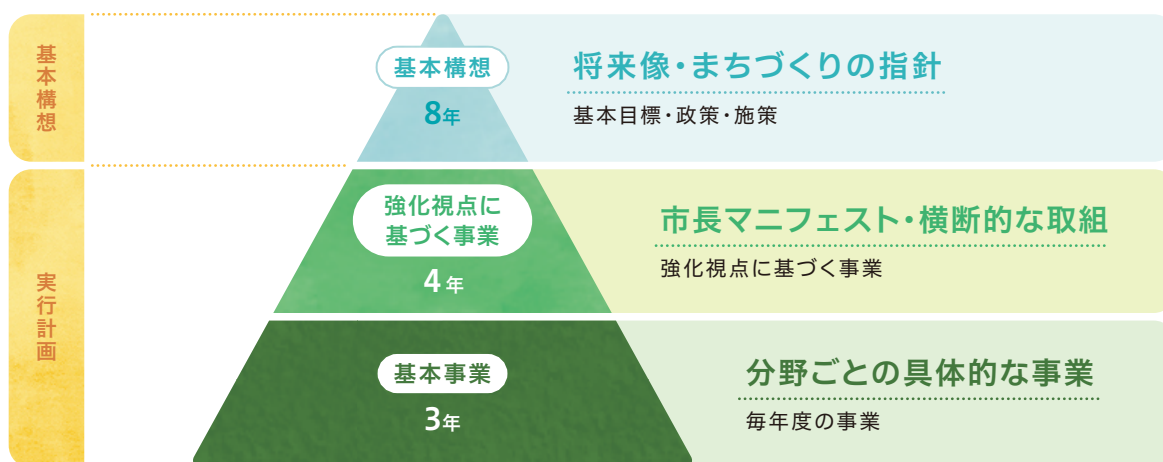
総合計画は、これからの菊川市のまちづくりや市の運営の方向性を示す、最上位の計画です。菊川市総合計画は条例に基づき、「基本構想」と「実行計画」をもって構成しています。

#### 基本構想とは

将来の菊川市が目指すべき将来像やまちづくりの指針などを示すもの。本計画の計画期間は、令和8年度から令和15年度までの8年間とします。

#### 実行計画とは

基本構想で掲げたまちづくりの実現にむけ、重点的に取り組む事業や分野ごとの具体的な事業を示します。強化視点に基づく事業の計画期間は4年間とし、基本事業は3年間を見通しながら社会の変化に対応できるよう毎年度見直しを行います。



### 人口ビジョン・総合戦略との一体化

これまでは、総合計画と人口ビジョン・総合戦略は別々に策定していましたが、目指す方向性は同じです。

人口課題や地方創生といった共通の課題に一貫して取り組むため、計画を一体化し、市民の皆さまにとって分かりやすい形で第3次菊川市総合計画は策定します。

#### 人口ビジョンとは

現在の人口状況をもとに、目指すべき将来の人口の見通しを示したものです。

#### 総合戦略とは

人口ビジョンで明らかになった課題に対し、今後どのように取り組んでいくのかをまとめた計画です。



## 2. 菊川市を取り巻く環境

1 はじめに・基本構想 | P5 ~

### 社会全体の動き

人口減少・少子高齢化の進行に対する対策



自然災害に備えた防災・減災力の向上



SDGsとWell-beingを大切に、持続可能な社会づくり



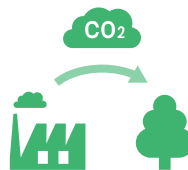
多様なライフスタイルと価値観を尊重する共生社会の実現



デジタル技術の進展による暮らしや行政サービスの利便性向上



脱炭素社会の実現に向けた体制づくり



老朽化する公共施設への対応



市民・事業者・行政の協働と共創



### 菊川市の現況・特徴

#### 市民意識

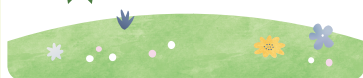
市民、市内出身の中学生・高校生を対象に調査した結果、

**平均8割以上**が  
**住みやすい**  
**どちらかといえば住みやすい**

と回答。

理由で最も多かった回答は…

**1 自然環境がよい**



#### 人口

令和2年に一時的に増加しましたが、その後は年々人口が減少していくと予測されています。少子高齢化が進むなか、年齢や国籍に関わらず、誰もが安心して暮らせるまちづくりが大切です。

#### 交通

高速道路のインターチェンジや鉄道駅があり、通勤や通学、日々の移動に便利なまちです。コロナ禍で人の動きは一時的に減りましたが、現在は回復しつつあります。

#### 災害

地震については最大震度7が想定されています。菊川市南部では、液状化危険度の高い地域があり、注意が必要です。なお、津波の心配はありません。

#### 産業・財政

製造業を中心とした産業のまちですが、農業や工業の担い手は減少しています。一方で、サービス業は増えており、産業構造は変化しています。財政は比較的安定しており、今後の活力づくりが大切です。

### 市民・企業からの提案

**市民団体等** 空き家、空き地などを使いたい人にまわせる仕組みづくり／事業引継ぎについてのマッチング等

**高校生** 若い世代が地域行事を企画・運営する仕組み／保護者同士が交流できる児童館の充実と情報発信等

**企業×行政** 公園遊具の整備・管理にクラウドファンディングを活用／市内企業で働く人を増やすための支援制度等

### まちづくりの課題

- ① 人口減少・少子高齢化の進行
- ② 安全安心な暮らしへの対応
- ③ 誰もが活躍できるまちづくり
- ④ 持続可能な社会の構築
- ⑤ 地域産業の拡大と魅力あるまちづくり

# みんなでつくる未来の菊川市

## 3. まちの将来像

1 はじめに・基本構想 | P44～

### 基本理念と将来像

平成18年に制定された「菊川市民憲章」で掲げられている条文や「市民意識調査」で回答あった魅力や目指すべきまちのイメージにおいて、まちづくりへの想いは、合併時から現在も引き継がれていることから、今後も平成17年合併時の理念を受け継ぐため、第3次菊川市総合計画でもまちづくりの基本理念を継承していきます。

とも い  
共に生きる

… 共生と協働 …

みずか ひら  
自らを拓く

… 自立と交流 …

みらい あゆ  
未来へ歩む

… 継承と発展 …

目指す将来像

## 誰もが夢叶う 幸せ創生都市 “<sup>きく</sup>菊川<sup>がわ</sup>”

少子高齢化や人口減少、不安定な地域経済、頻発する自然災害、環境問題など、社会を取り巻く状況は大きく変化しています。

また、ジェンダー平等や多文化共生など、多様性を大切にされた社会づくりも求められています。

こうした課題に柔軟に対応しながら、持続的なまちづくりに取り組むとともに、菊川市の大きな魅力である“みどり”あふれる自然など、次世代に引き継ぐべき素晴らしい環境とポテンシャル（可能性）を生かしていきます。

市民と行政が協力し、魅力ある暮らしをともに創ることで、市民の皆さまや市に関わる人たち一人ひとり、誰もが夢叶い、幸せを創り生み出すまちを実現していきます。そして、その幸せがこの先も続き、広がり、実感できる都市へと発展していくことを目指します。

### 魅力を高める基本目標

第3次菊川市総合計画の基本目標は、菊川市の魅力を高めることを目的としており、名称は「魅力を高める基本目標」（略称：「魅力目標」）としています。

将来像の実現にむけて、市民意識調査で寄せられた「菊川市の魅力」に関する声をもとに、「次世代」「安心」「幸福」「快適」「躍動」の5つの魅力目標を設定しました。

目標に対する施策や取組事業の詳細は、


冊子 **2** 魅力を高める基本目標 をご覧ください。


魅力目標

1  **次世代** 子育て・教育

2  **安心** 防災・自助・共助・公助

3  **幸福** 健康・福祉・医療・生涯学習・文化芸術・スポーツ

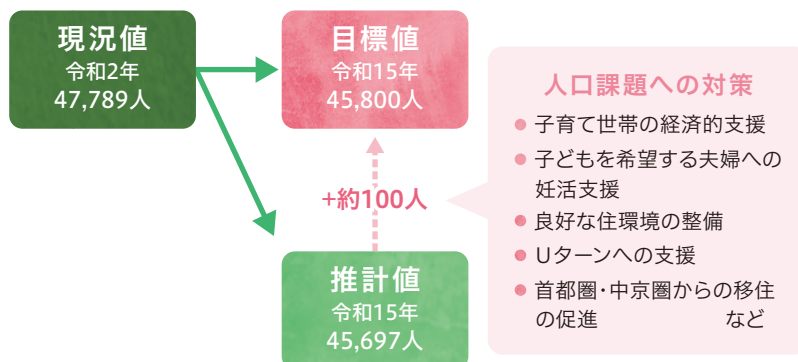
4  **快適** 環境・社会資本整備・行財政

5  **躍動** 経済・雇用・農業・観光・コミュニティ

## 第3次菊川市総合計画の目標人口（令和15年）

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が令和5年に公表した将来推計人口では、菊川市の人口は令和42年（2060年）に38,037人まで減少すると見込まれています。

子育て支援や妊活支援、移住の促進など、人口課題への対策を講じ、本計画の目標年次である令和15年における目標人口を45,800人とします。



## 将来の菊川市の都市づくりの考え方

少子高齢化や人口減少といった課題に向き合いながら、**菊川市ならではの良さや地域の資源を活かし都市づくりを進めていきます。**

また、〈環境に配慮した脱炭素社会への取組〉〈デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進〉〈SDGsの達成〉といった新たな都市づくりの視点を加え、次世代に引き継げる、持続可能で安全・安心なまちを目指します。

そのため、将来のまちの形を次のように考えています。

## 1

## 「コンパクト+ネットワーク」による持続可能な都市づくり

駅や高速道路、近隣の空港や港などの交通の強みを活かし、市街地などの拠点と地域の活動拠点をつなぐ道路交通網の整備や、医療機関などへの移動手段も、ライフスタイルに応じた環境を整え、「コンパクト+ネットワーク」による持続可能な都市づくりを進めます。

## 2

## 人や企業が集まり活力を生み出す都市づくり

交通ネットワークの強みを活かした企業誘致や既存企業への支援、産業支援センターEnGAWAによる産業育成などを進め、働く場所と雇用を生み出すまちを目指します。また、駅周辺の整備や住みやすい住宅づくりにより、定住人口を増やします。

## 3

## みどりあふれる豊かな自然環境と歴史・文化が調和した都市づくり

菊川を代表とする河川や、牧原台地を始めとした茶園や日本の原風景である棚田などの農地など、みどりあふれる豊かな自然と伝統・文化を守りながら、それらの調和と温暖な気候を活かした菊川らしい魅力のある都市をつくりまします。

## 4

## 市民と事業者とともに育む都市づくり

各地区センターを核とした地域コミュニティとともに、地域のつながりを大切にし、市民・事業者・行政などが協働・共創により成長する都市づくりを続けていきます。

## 5

## 多彩な人が交わる賑わいあふれる都市づくり

コミュニティ活動拠点「プラザきくる」を中心に、若者や外国人、地域事業者などがつながり、市内外から多彩な人が訪れる賑わいのある都市づくりを目指します。

## 6

## 災害に強く安全安心に暮らせる都市づくり

巨大地震や大雨などの災害に備え、防災・減災対策を進めます。地域で助け合いながら、地域防災力の向上や地域福祉体制の充実などに取り組みまします。



# 第1節 人口ビジョン

## 1. 人口ビジョンの概要

### 1 人口ビジョンの位置づけ

菊川市人口ビジョンは、市における人口の現状を分析し、現状分析で把握した課題を踏まえ、市民の結婚・出産・子育てや、定住に関する意識・希望などを把握したうえで、目指すべき将来の方向を提示し、自然増減や社会増減に関する見通しを立て、市の将来の人口を展望します。

### 2 人口ビジョンの対象期間

菊川市人口ビジョンの対象期間は2060年までとします。



## 2. 人口分析

※別冊の〈1 基本構想〉第1章 第3節「菊川市を取り巻く環境」の「2. 現況・特徴」および「3. 市民意識」においても人口に関する分析を掲載しております。併せてご確認ください。

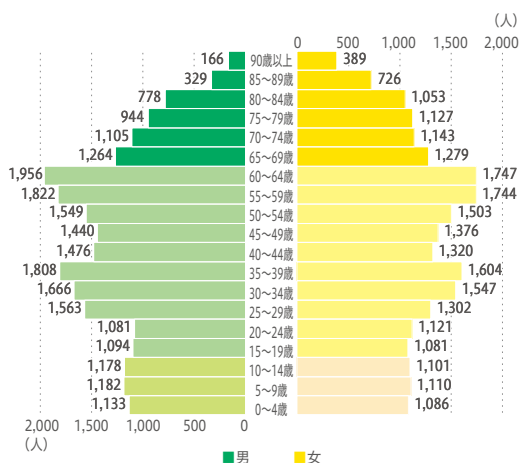
### 1 人口ピラミッドの推移

平成22年・令和2年の人口ピラミッドの形状は「第1次ベビーブーム」と「第2次ベビーブーム」の2つの大きな膨らみにより「ひょうたん型」に近いものとなっており、日本全体の人口ピラミッドの形状とほぼ同様となっています。

人口ピラミッドは、平成22年から令和32年にかけて、年齢別人口ボリュームをみると、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は小さくなっていますが、老年人口（65歳以上）は大きくなっています。

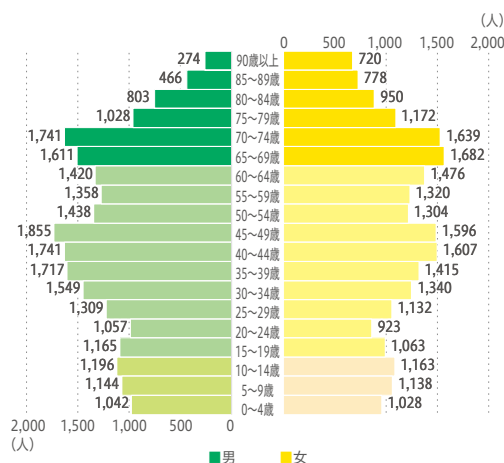
令和32年には男女ともに60代の人口が最も多くなると推測されています。

平成22年



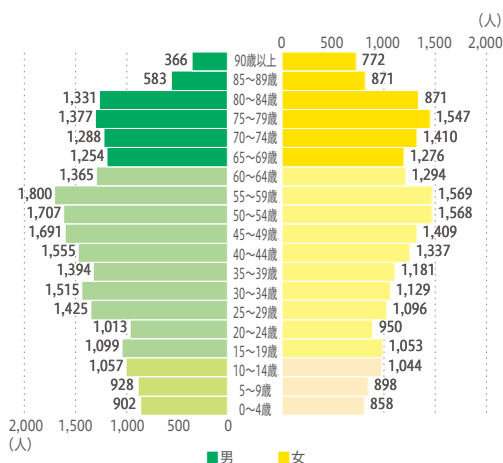
資料：国勢調査

令和2年



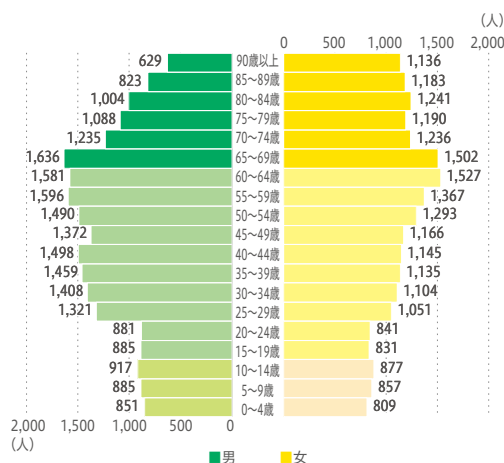
資料：国勢調査

令和22年



資料：社人研

令和32年



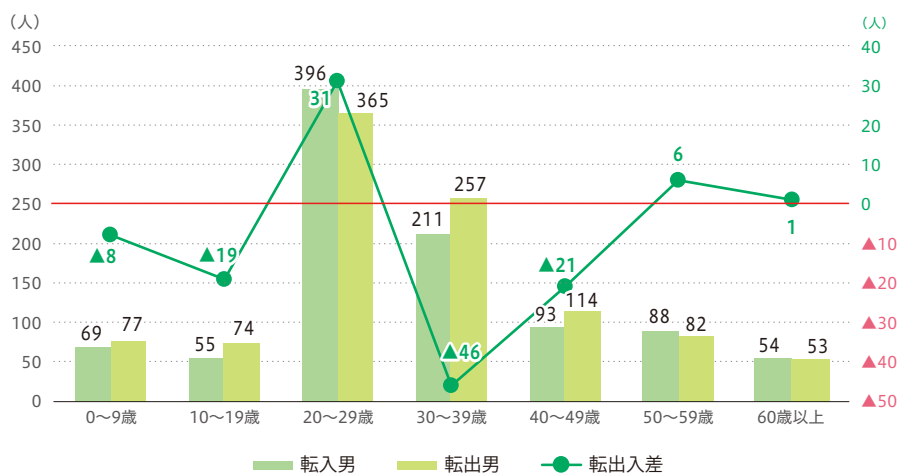
資料：社人研

## 2 年齢階級別転入転出状況

住民基本台帳人口移動報告による調査では、男性は20代、50代、60歳以上を除き転出超過となっております。女性は10代、60歳以上を除き転出超過となっており、20代で最も転出超過となっております。

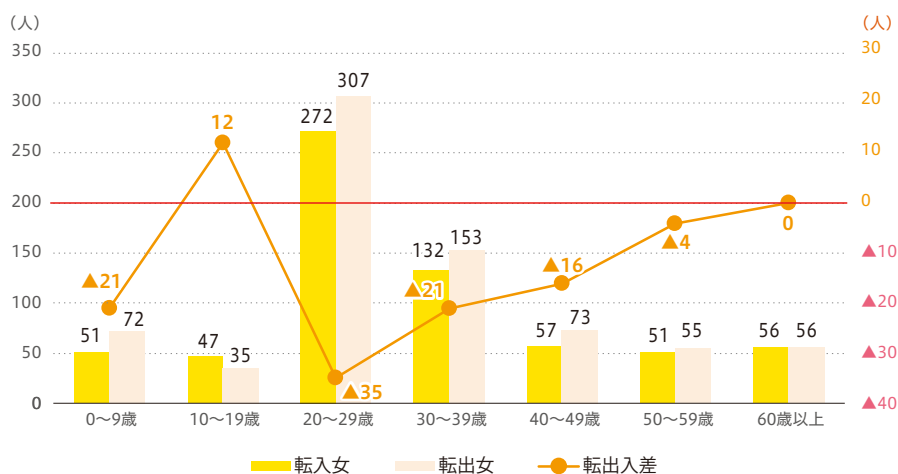
転出理由においては、男女ともに10代は「進学」が、20代、30代は「就職・転職」が最も多い理由となっております。

### 年齢階級別転入転出状況（男性）（令和6年）



資料：住民基本台帳人口移動報告

### 年齢階級別転入転出状況（女性）（令和6年）

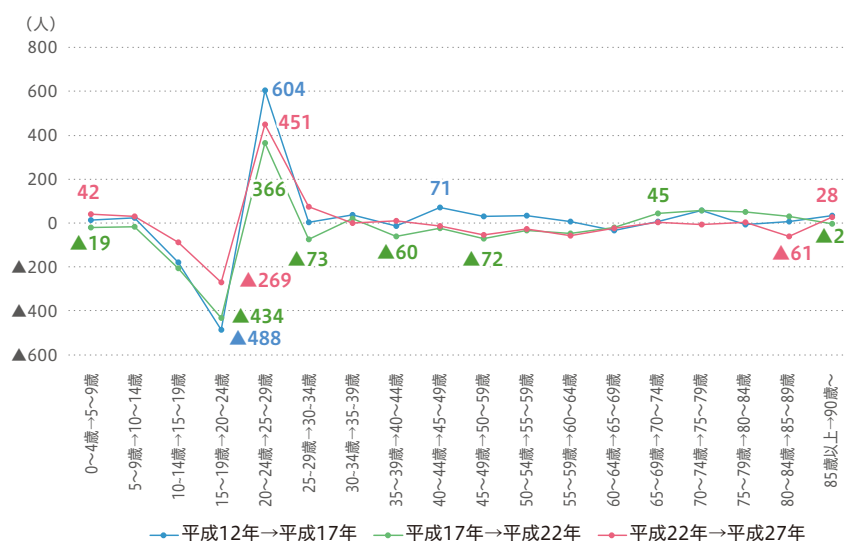


資料：住民基本台帳人口移動報告

### 3 年齢階級別純移動数の推移

年齢階級別にみた純移動数の時系列推移をみると、平成12年→平成17年、平成17年→平成22年、平成22年→平成27年どの年代においても「15～19歳→20～24歳」で最も転出増となり、「20～24歳→25～29歳」で最も転入増となっています。

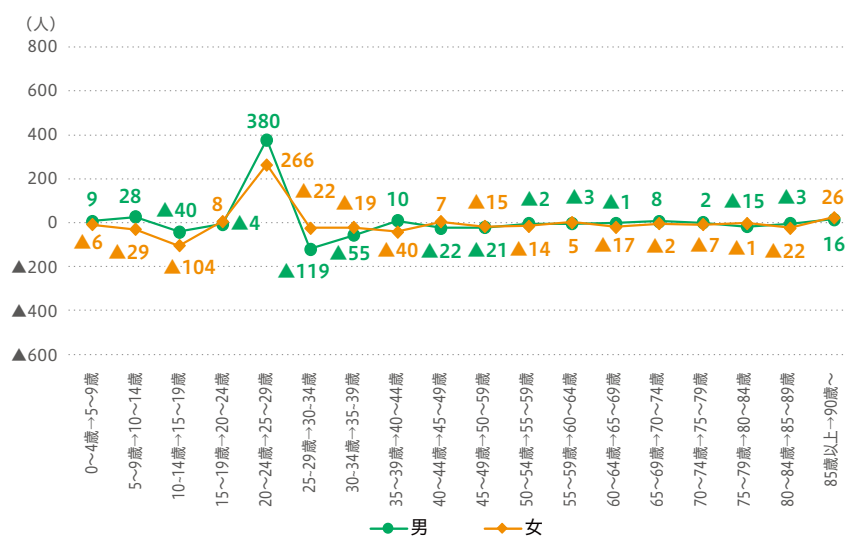
#### 年齢階級別純移動数の時系列推移



資料：国勢調査、RESAS

男女別の年齢階級別人口移動をみると、男女ともに「20～24歳→25～29歳」で最も転入超過となっています。男性は「25～29歳→30～34歳」、女性は「10～14歳→15～19歳」で最も転出超過となっています。

#### 年齢階級別人口移動（平成27年→令和2年）

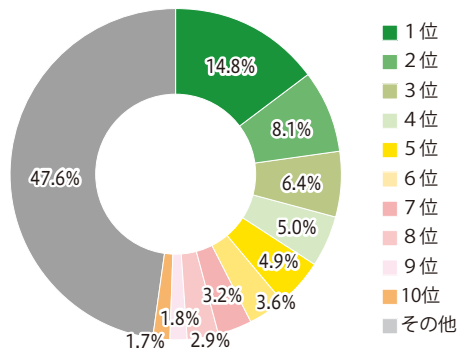


資料：国勢調査

## 4 転入元転出先

本市への主な転入元は、「掛川市」が最も多く、次いで「浜松市」、「御前崎市」の順に多いです。一方で、主な転出先も「掛川市」が最も多く、次いで「浜松市」、「袋井市」の順に多くなっています。

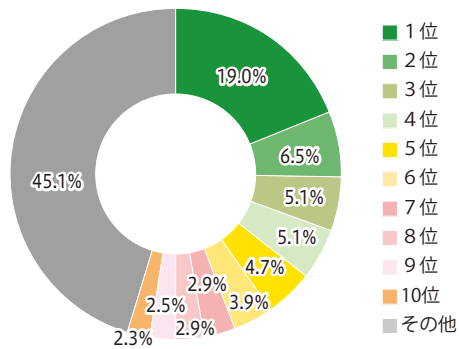
### 菊川市の転入数内訳（令和6年）



順位	市区町村名	人数 (割合)
1位	掛川市	241人 (14.8%)
2位	浜松市	133人 (8.1%)
3位	御前崎市	104人 (6.4%)
4位	牧之原市	81人 (5.0%)
5位	静岡市	80人 (4.9%)
6位	島田市	59人 (3.6%)
7位	磐田市	52人 (3.2%)
8位	袋井市	48人 (2.9%)
9位	藤枝市	30人 (1.8%)
10位	富士市	27人 (1.7%)
	その他	777人 (47.6%)

資料：住民基本台帳人口移動報告

### 菊川市の転出数内訳（令和6年）



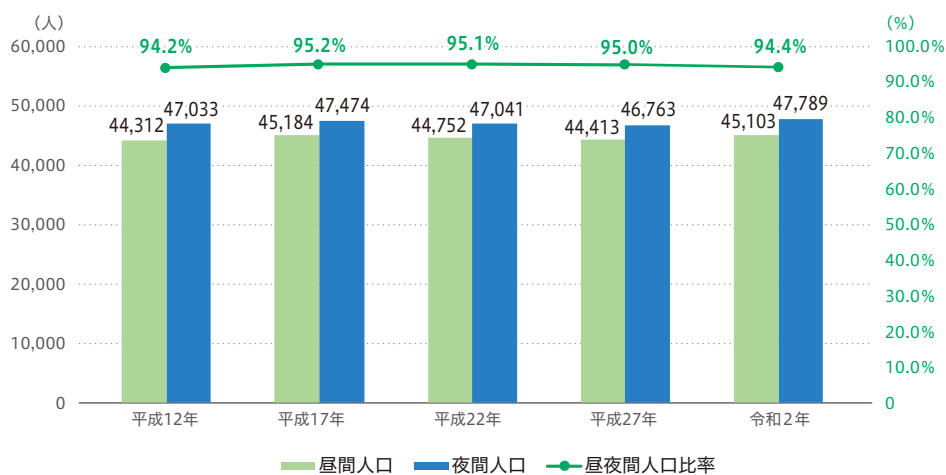
順位	市区町村名	人数 (割合)
1位	掛川市	336人 (19.0%)
2位	浜松市	116人 (6.5%)
3位	袋井市	91人 (5.1%)
4位	静岡市	90人 (5.1%)
5位	磐田市	84人 (4.7%)
6位	御前崎市	70人 (3.9%)
7位	島田市	51人 (2.9%)
8位	名古屋市	51人 (2.9%)
9位	横浜市	44人 (2.5%)
10位	焼津市	41人 (2.3%)
	その他	799人 (45.1%)

資料：住民基本台帳人口移動報告

## 5 昼夜間人口

昼夜間人口は、平成12年から令和2年において約95%前後を推移しており、流出が超過しています。

### 昼夜間人口と比率の推移



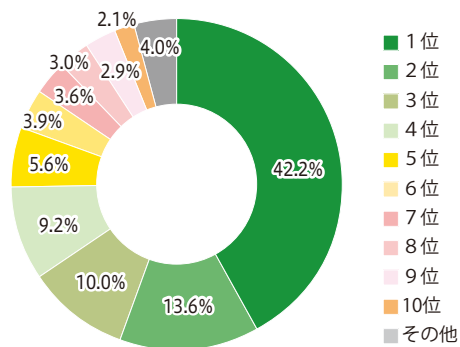
資料：国勢調査



## 第1節 人口ビジョン

流入者の居住地は「掛川市」が最も多く、次いで「御前崎市」、「島田市」の順に多くなっています。一方、主な流出先として、「掛川市」が最も多く、次いで「牧之原市」、「御前崎市」の順に多くなっています。

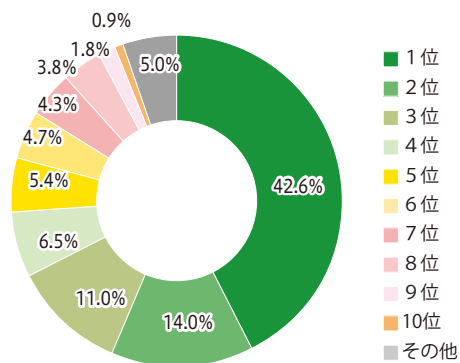
### 菊川市の流入者内訳（令和2年）



順位	市区町村名	人数 (割合)
1位	掛川市	4,459人 (42.2%)
2位	御前崎市	1,438人 (13.6%)
3位	島田市	1,056人 (10.0%)
4位	牧之原市	968人 (9.2%)
5位	袋井市	594人 (5.6%)
6位	藤枝市	415人 (3.9%)
7位	静岡市	376人 (3.6%)
8位	磐田市	312人 (3.0%)
9位	浜松市	308人 (2.9%)
10位	焼津市	224人 (2.1%)
	その他	419人 (4.0%)

資料：国勢調査

### 菊川市の流出者内訳（令和2年）



順位	市区町村名	人数 (割合)
1位	掛川市	5,714人 (42.6%)
2位	牧之原市	1,875人 (14.0%)
3位	御前崎市	1,479人 (11.0%)
4位	袋井市	867人 (6.5%)
5位	浜松市	718人 (5.4%)
6位	静岡市	626人 (4.7%)
7位	島田市	583人 (4.3%)
8位	磐田市	507人 (3.8%)
9位	藤枝市	239人 (1.8%)
10位	吉田町	126人 (0.9%)
	その他	676人 (5.0%)

資料：国勢調査

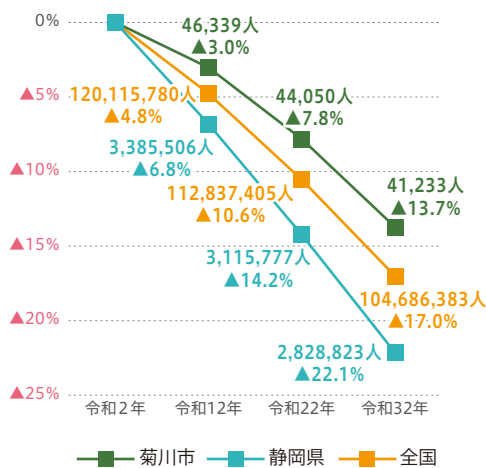
## 6 人口増減率推計

本市における総人口における令和2年からの人口増減率をみると令和12年には▲3.0%（46,339人）、令和22年には▲7.8%（44,050人）、令和32年には▲13.7%（41,233人）と減少傾向が続きますが、静岡県や全国に比べて減少傾向は緩やかになっています。

男女別にみると、男性に比べ女性の方が減少率が高く、令和32年において男性は▲12.1%に対して、女性は▲15.0%となっています。このような傾向は、静岡県や全国と同様の傾向となっております。

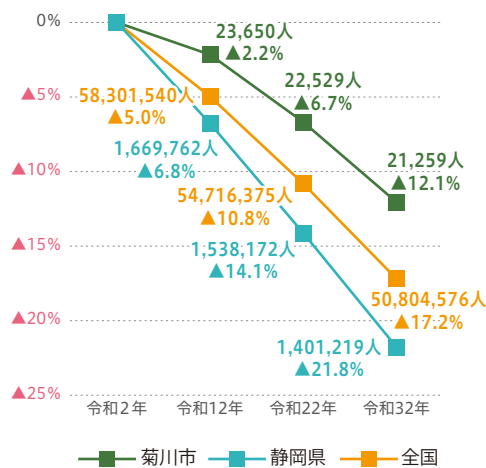
若者女性（20-39歳）をみると女性全体よりも減少率が高く、令和12年で▲10.7%、令和22年では▲15.4%、令和32年には▲26.5%となります。また、静岡県や全国と比較すると令和12年においては静岡県や全国よりも減少率が高く、令和22年・令和32年では全国よりも減少率が高くなっています。

総人口における令和2年からの人口増減率の推移 菊川市/静岡県/全国



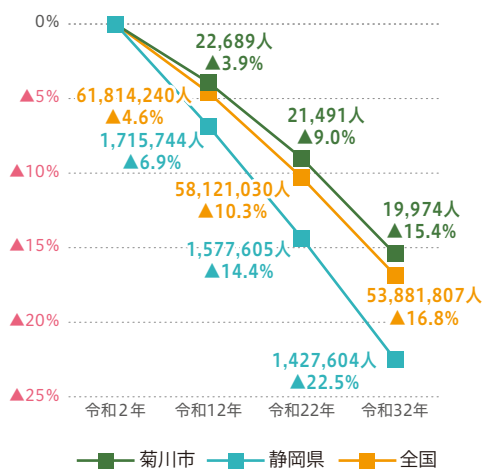
資料：社人研

男性人口における令和2年からの人口増減率の推移 菊川市/静岡県/全国



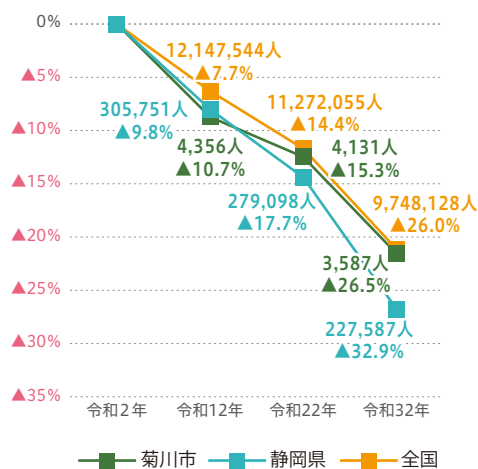
資料：社人研

女性人口における令和2年からの人口増減率の推移 菊川市/静岡県/全国



資料：社人研

若者女性（20-39歳）人口における令和2年からの人口増減率の推移 菊川市/静岡県/全国



資料：社人研

### 3. 目指すべき将来の方向性

#### 視点1 出生率の低減を緩和し、出生数の減少を抑える

- ・経済的不安から結婚や出産を控える傾向が見られるため、行政として支援する必要があります。

#### 視点2 移動率を改善し、人口を増やす

- ・進学や就職をきっかけに市外へ転出する人が多いため、転出を抑制するとともに市外からの転入を促進する必要があります。

#### 視点3 増加する65歳以上の老年人口への対応

- ・元気な高齢者が増えるなか、経験豊富な人材として活躍できる場を創出していく必要があります。
- ・高齢化の進行による医療・介護の負担増が予測され、個人が健やかで自立した生活維持への支援が必要です。

#### 視点4 減少する年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳）への対応

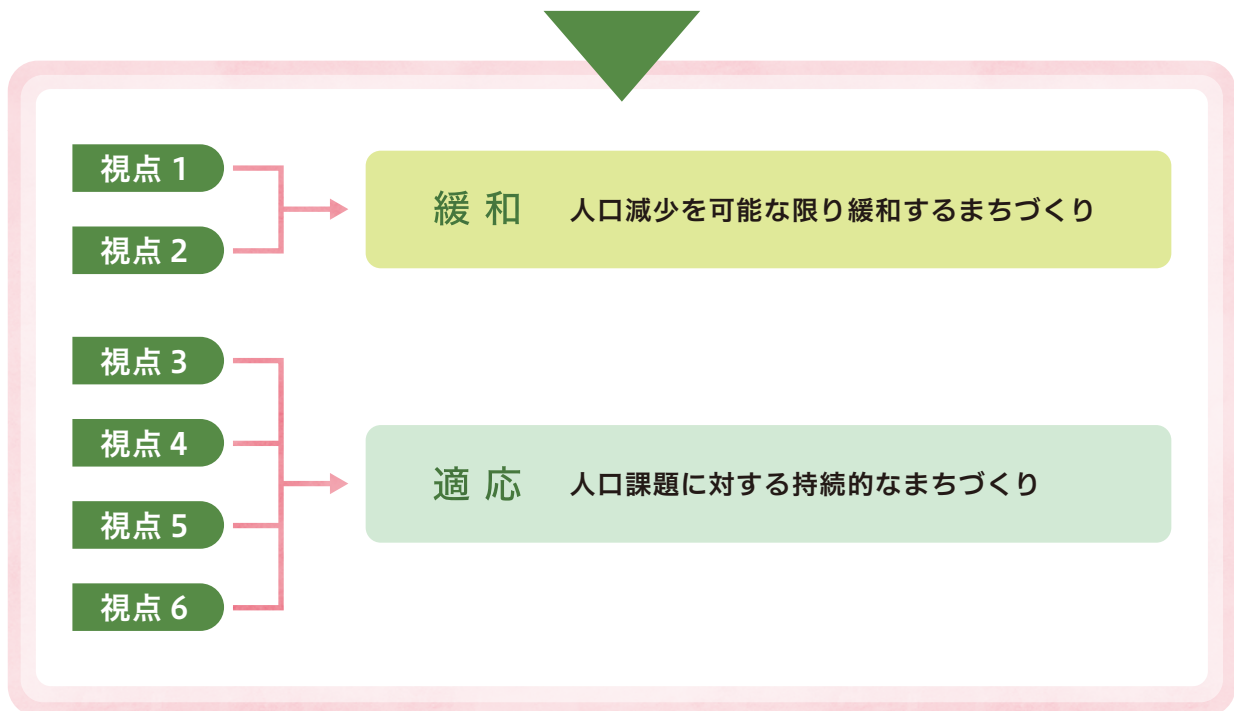
- ・企業の労働者の確保が困難となっており、企業の魅力向上が必要です。
- ・出生数の減少に歯止めをかけるためにも、経済的不安の解消や居住環境の向上を図る必要があります。

#### 視点5 減少傾向が予測される将来推計人口への対応

- ・人口減少により、地域コミュニティや自主防災会における防災活動への影響が生じる恐れがあります。

#### 視点6 増加する外国人との共生

- ・多文化共生を推進し、市民が互いに心地よく暮らせる環境整備が求められています。



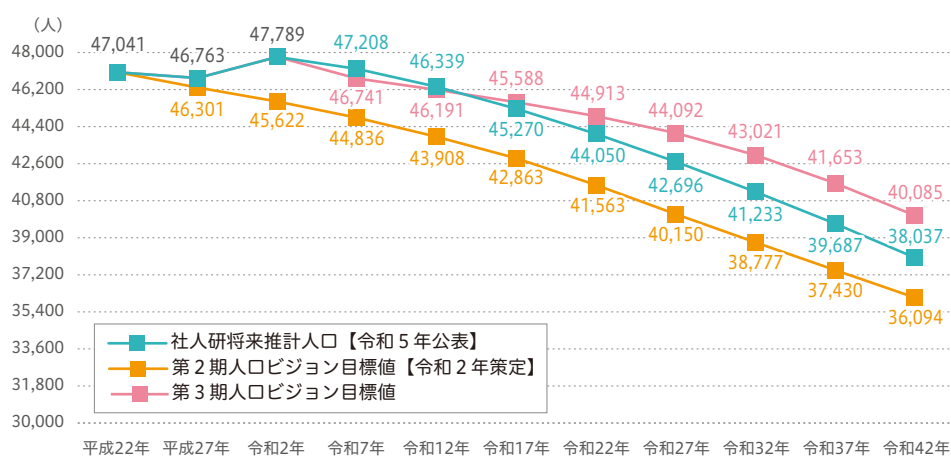
## 4. 目標人口

### 1 目標人口

第3期人口ビジョンの目標年次である令和42年において、第2期人口ビジョンでは36,094人を目指していましたが、令和5年公表の社人研の将来推計人口で38,037人と約2,000人の上振れ予測となりました。

そのため、自然動態は出生率の低減を緩和し出生数の減少を抑え、社会動態は移動率を改善し人口を増やすことで、令和42年の目標人口を40,000人とします。

#### 目標人口推移



2 人口の将来展望（目標）

令和42年に人口40,000人を目指します

緩和 人口減少を可能な限り緩和するまちづくり

視点1	自然動態 出生率の低減を緩和し、出生数の減少を抑える	① 子育て世帯への経済的支援
		② 子どもを希望する夫婦などへの妊活支援
		③ 出産・子育ての安心につながる環境整備
		④ 思春期初期からの妊娠・出産のための健康づくり（プレコンセプションケア）
		⑤ 子育て世帯が気軽に相談できる体制の構築
		⑥ 婚活支援（出会いの機会の創出）
		⑦ 働き方などの雇用環境の改善
		⑧ 地域医療支援体制の充実
		⑨ 男女共同参画の推進
視点2	社会動態 移動率を改善し、人口を増やす	① キャリアアップに繋がる企業誘致・働き方などの雇用環境の改善
		② 良好な住環境の整備
		③ 郷土愛（シビックプライド）の醸成
		④ Uターンへの支援（子育てしながらでも誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現のための意識啓発）
		⑤ 市内企業への就職を見据えた各種支援
		⑥ 首都圏・中京圏からの移住の促進

適応 人口課題に対する持続的なまちづくり

視点3	増加する老年人口への対応	① 若い世代からの健康づくりへの支援 ② 高齢者施策の充実 ③ 高齢者を中心とした予防救急などの啓発・広報の強化 ④ 高齢者の交通手段の確保
視点4	減少する年少人口・生産年齢人口への対応	① Uターンへの支援やIターンへの支援による労働力の確保・企業DXやスマート農業による効率化・省力化の推進 ② 減少する就学世代への対応
視点5	減少傾向が予測される将来推計人口への対応	① 複数のつながりを活かした地域における防災活動の継続・要支援者支援体制の検討 ② 常備消防（消防本部）と非常備消防（消防団）の消防力を考慮した消防体制の検討
視点6	増加する外国人との共生	① 多文化共生の推進 ② 地域の担い手（地域活動などの担い手としての外国人との共生）

## 1. 総合戦略の概要

## 1 背景・目的

日本における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の一極集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的に平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。この法律において、市町村は地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画を定めるよう努めなければならないこととされました。

同法に基づき、国は、平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。その後、令和元年12月の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定、令和4年12月の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の策定を経て、令和7年12月に「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」を策定しました。

本市においても、総人口に占める年少人口及び生産年齢人口の割合は減少傾向にあるほか、外国人人口が増加傾向にあるなど、こうした人口動向に対応し、将来にわたり市民の「暮らし」を守り、活力があり自立したまちを維持していく必要があります。

## まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指す

令和4年12月改定

## デジタル田園都市国家構想総合戦略

令和7年12月改定

## 地方創生に関する総合戦略

～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～

これまでの地方創生の取組をフォローアップするとともに、地方創生施策の推進戦略をとりまとめたもの

## —— まち・ひと・しごと創生に関する施策に関する基本的方向 ——

- ・人口減少を正面から受け止めた上での施策展開
- ・若者や女性にも選ばれる地域づくり
- ・異なる要素の連携と「新結合」
- ・AI・デジタルなどの新技術の徹底活用と社会実装
- ・都市・地方の共生関係の強化と人材循環の促進
- ・好事例の普遍化（点から面へ、地域の多様なステークホルダーの連携）

## 政策目標

- ① 強い経済      ② 豊かな生活環境      ③ 選ばれる地方

## 2 県の動向を踏まえた総合計画との統合

静岡県では、令和2年3月に第2期となる美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：令和2年度～令和6年度）を策定しました。併せて、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が公表した「地域別将来推計人口」などを踏まえ、総合戦略の基礎となる長期人口ビジョンの改訂を行いました。また、「総合戦略」の推進に当たっては、令和4年12月に国が策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、令和5年度に総合計画へ統合しました。

これらを受け、本市では、令和2年に「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン&総合戦略」を策定し、各施策に取り組んできましたが、国が策定した総合戦略を勘案した「第3期菊川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン&総合戦略」の策定にともない、本計画へ統合しました。

## 3 計画期間

本戦略の計画期間は、第3次菊川市総合計画の強化視点に基づく事業の見直し時期と整合を図るため、令和8年度から令和11年度までの4年間とします。



## 2. 数値目標と体系図

本市では、第3期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、以下のように数値目標を設定し、2つの基本目標のもと、各施策に取り組みます。

### 1 数値目標

指 標	基準値 (R7/2025年)	目標値 (R11/2029年)
1 合計特殊出生率	1.58 ※1	1.41 ※3
2 年間出生数	302人 ※2	315人 ※4
3 20歳代の転入超過数	24人 ※2	120人 ※4
4 転入超過数	9人 ※2	110人 ※4

※1 「平成30年～令和4年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況」（厚生労働省・2024年）における公表値

※2 直近5年間のうち、コロナ禍を除く直近3年間（令和4年度から令和6年度）における住民基本台帳の数値の平均値

※3 「令和5年～令和9年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況」（厚生労働省）における公表値（2029年公表を想定）をもって、実績値の確認を行う。

※4 住民基本台帳（令和11年4月1日～令和12年3月31日まで）の1年間の集計数値をもって、実績値の確認を行う。



2 体系図

基本目標	基本施策（視点）	主な取組（取組の方向性）
<p>1 【緩和】</p> <p>人口減少を可能な限り緩和するまちづくり</p>	<p><b>A</b> 【自然動態】 出生率の低減を緩和し、出生数の減少を抑える</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 子育て世帯への経済的支援</li> <li>② 子どもを希望する夫婦などへの妊活支援</li> <li>③ 出産・子育ての安心につながる環境整備</li> <li>④ 思春期初期からの妊娠・出産のための健康づくり（プレコンセプションケア）</li> <li>⑤ 子育て世帯が気軽に相談できる体制の構築</li> <li>⑥ 婚活支援（出会いの機会の創出）</li> <li>⑦ 働き方などの雇用環境の改善</li> <li>⑧ 地域医療支援体制の充実</li> <li>⑨ 男女共同参画の推進</li> </ol>
	<p><b>B</b> 【社会動態】 移動率を改善し、人口を増やす</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① キャリアアップに繋がる企業誘致・働き方などの雇用環境の改善</li> <li>② 良好な住環境の整備</li> <li>③ 郷土愛（シビックプライド）の醸成</li> <li>④ Uターンへの支援（子育てしながらでも誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現のための意識啓発）</li> <li>⑤ 市内企業への就職を見据えた各種支援</li> <li>⑥ 首都圏・中京圏からの移住の促進</li> </ol>
<p>2 【適応】</p> <p>人口課題に対する持続的なまちづくり</p>	<p><b>A</b> 増加する 老年人口への対応</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 若い世代からの健康づくりへの支援</li> <li>② 高齢者施策の充実</li> <li>③ 高齢者を中心とした予防救急などの啓発・広報の強化</li> <li>④ 高齢者の交通手段の確保</li> </ol>
	<p><b>B</b> 減少する年少人口・ 生産年齢人口への対応</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① Uターンへの支援やIターンへの支援による労働力の確保・企業DXやスマート農業による効率化・省力化の推進</li> <li>② 減少する就学世代への対応</li> </ol>
	<p><b>C</b> 減少傾向が予測される 将来推計人口への対応</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 複数のつながりを活かした地域における防災活動の継続・要支援者支援体制の検討</li> <li>② 常備消防（消防本部）と非常備消防（消防団）の消防力を考慮した消防体制の検討</li> </ol>
	<p><b>D</b> 増加する 外国人との共生</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 多文化共生の推進</li> <li>② 地域の担い手（地域活動などの担い手としての外国人との共生）</li> </ol>

	強化視点					まち	ひと	しごと
	安全安心	多様性	デジタル	脱炭素	SDGs			
					●		●	
	●				●		●	
	●				●		●	
	●				●		●	
	●				●		●	
					●		●	
					●		●	
	●		●		●			●
		●			●		●	
			●		●			●
	●				●	●		
				●	●			●
			●		●		●	
			●		●			●
	●				●		●	
	●				●		●	
	●				●		●	
					●	●		
			●	●	●			●
			●		●		●	
	●	●			●	●		
	●				●	●		
		●			●		●	
		●			●		●	

### 3. 施策の基本的な方向

基本目標

1

## 人口減少を可能な限り緩和するまちづくり

緩和

#### A 【自然動態】出生率の低減を緩和し、出生数の減少を抑える

結婚を望む市民が出会いから結婚までの総合的な支援の充実を図るとともに、安心して出産の希望をかなえられる環境整備など、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制を構築することで、出生率の軽減を緩和し、出生数の減少を抑えます。

- ① 子育て世帯への経済的支援
- ② 子どもを希望する夫婦などへの妊活支援
- ③ 出産・子育ての安心につながる環境整備
- ④ 思春期初期からの妊娠・出産のための健康づくり（プレコンセプションケア）
- ⑤ 子育て世帯が気軽に相談できる体制の構築
- ⑥ 婚活支援（出会いの機会の創出）
- ⑦ 働き方などの雇用環境の改善
- ⑧ 地域医療支援体制の充実
- ⑨ 男女共同参画の推進

#### B 【社会動態】移動率を改善し、人口を増やす

住み続けたいと思える住環境の整備をはじめ、就業の場の確保や市民の本市に対する愛情や誇りの醸成により市外への移住・転出を抑制するとともに、魅力的な住環境・就業環境により移住を促進することで、移動率を改善し、人口を増やします。

- ① キャリアアップに繋がる企業誘致・働き方などの雇用環境の改善
- ② 良好な住環境の整備
- ③ 郷土愛（シビックプライド）の醸成
- ④ Uターンへの支援  
（子育てしながらでも誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現のための意識啓発）
- ⑤ 市内企業への就職を見据えた各種支援
- ⑥ 首都圏・中京圏からの移住の促進

## 基本施策

## 1-A 【自然動態】出生率の低減を緩和し、出生数の減少を抑える

## 施策の達成度

指 標	基準値	目標値
	(R7/2025年)	(R11/2029年)
1 産後ケア事業年間利用延件数	60件	60件
2 児童館・子育て支援センターの来館者数	40,398人	43,599人
3 きくすく妊活サポート事業の助成件数	18件	36件
4 お仕事相談所「なでしこワーク」 年間来訪者数	376人	388人

## 主な取組

## ① 子育て世帯への経済的支援

児童手当、こども医療費、ひとり親支援など、各種の助成や給付事業などを実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組みます。

## 主な事業名

- 妊婦のための支援給付金の支給
- こども医療費の無償化
- 児童手当や児童扶養手当の支給

など

## ② 子どもを希望する夫婦などへの妊活支援

早期から不妊症治療が可能となるような助成制度を実施するなど、より多くの妊娠を希望する夫婦などが子どもを授かることができるような支援に取り組みます。

## 主な事業名

- 不妊症治療及び不育症治療への助成  
【きくすく妊活サポート事業・不育症治療費助成事業】
- 若年がん患者等支援補助金（妊孕制温存治療費）

など

## 主な取組

### 3 出産・子育ての安心につながる環境整備

母子の健康増進及び保持、育児不安の解消を目的として、健康診査、予防接種、産後ケア事業等を実施することで、安心して出産・子育てができる環境を整えます。

#### 主な事業名

- 妊産婦及び乳幼児健診の実施
- 乳幼児予防接種の実施
- 産後ケア事業の実施

など

### 4 思春期初期からの妊娠・出産のための健康づくり(プレコンセプションケア)

若い世代が自身のライフプランを考える機会を提供し、健康管理を行うための機会づくりに取り組みます。

#### 主な事業名

- 思春期の健康教育に関する講座の実施
- 小中学校における性教育の推進・充実
- 30代の生活習慣病健診の実施
- 総合検診（がん検診など）、歯周病検診の実施
- 健康相談事業の実施

など

### 5 子育て世帯が気軽に相談できる体制の構築

健康相談や乳幼児健診などにおいて支援が必要と思われる人について、こども家庭センター内ですぐに共有できる体制を整えるほか、安心して妊娠、出産できるよう、不安や悩みに寄り添った相談支援、産後ケアや新米パパ教室などの事業を進めていきます。

#### 主な事業名

- こども家庭センターの運営
- 新米パパ教室の実施
- 児童館・子育て支援センターの相談支援

など

### 6 婚活支援（出会いの機会の創出）

より多くの人々が結婚という選択肢を考え、幸せな家庭を築くことができるよう、婚活支援サイトへの登録者の増加にむけた周知や、マッチングイベントの支援などに取り組みます。

#### 主な事業名

- 「ふじのくに出会いサポートセンター」への登録支援
- 婚活イベントの支援

など

## 7 働き方などの雇用環境の改善

従業員が安心して働き続けられるような雇用環境の整備や、出産・育児を経た後の就業についての支援に取り組みます。

主な事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就労に関する情報収集やセミナーの開設【女性向け就労支援事業】</li> <li>● 商工会と連携した市内事業者への経営支援</li> </ul>	など
-------	---	----

## 8 地域医療支援体制の充実

医療面における不安が発生しないよう、医療サービスを適切に受けられることができるよう、体制整備に取り組みます。

主な事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院事業会計への繰出</li> <li>● 小笠掛川急患診療所の運営</li> <li>● 看護師確保にむけた奨学金返還免除の取組</li> <li>● 県と連携した周産期医療体制の構築</li> </ul>	など
-------	---	----

## 9 男女共同参画の推進

業務多忙により、育児を負担と感じ、子どもを持つことに対して消極的にならないよう、ワークライフバランスが実現された環境づくり、またその支援に取り組みます。

主な事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒への男女共同参画啓発事業【幼少期における男女共同参画啓発事業】</li> <li>● 事業所にむけた男女共同参画への意識啓発</li> </ul>	など
-------	--	----

施策の達成度

指標	基準値	目標値
	(R7/2025年)	(R11/2029年)
1 法人市民税法人割を課税された法人数	1,123 法人	1,128 法人
2 菊川市全体の温室効果ガス排出量	21.8 %	33.9 %
3 JR菊川駅の1日平均乗降客数	7,669 人	7,835 人
4 菊川市への移住について相談を受けた件数	57 件	69 件

主な取組

① キャリアアップに繋がる企業誘致・働き方などの雇用環境の改善

菊川市で働くことに魅力を感じてもらうため、企業誘致によって働く場所の選択肢や移住者を増やすほか、市内企業や創業希望者が安心して働き続けられる環境整備への支援などに取り組みます。

主な事業名

- 不動産関係事業者などへの遊休地情報の提供【進出企業の獲得】
- 企業誘致にむけた取組の推進
- 各支援機関と連携した市内事業者や創業希望者への経営支援 など

② 良好な住環境の整備

多くの人に「菊川市に住み続けたい」、「菊川市に住んでみたい」と思ってもらえるよう、全ての世代が安心して暮らせるような住環境の整備や自然環境の保全・整備に取り組みます。

主な事業名

- JR菊川駅周辺の整備【駅北整備事業】
- 掛川浜岡線バイパスの整備【掛川浜岡線バイパス整備事業】
- 主要幹線道路の整備
- 脱炭素社会の構築にむけた取組【地球温暖化対策事業】
- 防災関連施設などの整備 など

### ③ 郷土愛（シビックプライド）の醸成

キャリア教育の推進などにより、市内の若者が、菊川市に愛着を持ち、定着してもらえるような環境づくりに取り組みます。

#### 主な事業名

- 中学生を対象としたキャリア教育の実施【中学生ふるさと未来塾】
  - 高校生まちづくりプレゼンテーション大会の実施
  - 地域の歴史や伝統文化の継承、担い手の確保
- など

### ④ Uターンへの支援 (子育てしながらでも誰もが活躍できる家庭・職場・地域の実現のための意識啓発)

仕事と育児の両立がしやすいまちとしての環境整備や意識啓発に繋がる取組により、転出者のUターン促進を図ります。

#### 主な事業名

- 教育・保育における施設及びサービスの充実
  - 事業所にむけた男女共同参画への意識啓発（再掲）
- など

### ⑤ 市内企業への就職を見据えた各種支援

市内企業への関心を高める取組や、就職に当たっての負担軽減に繋がるような取組などを通じて、市内企業への就職の促進を図ります。

#### 主な事業名

- 市内企業見学バスツアーの実施
  - 就労に関する情報収集やセミナーの開設（再掲）
  - 地方就職学生支援事業費補助金の活用
- など

### ⑥ 首都圏・中京圏からの移住の促進

令和2年国勢調査結果より、菊川市への転入元として愛知県、神奈川県、東京都が多かったことから、首都圏・中京圏をターゲットに、移住・定住に繋がる取組を進めていきます。

#### 主な事業名

- 首都圏からの移住者を対象とした支援金の支給  
【移住就業支援金の活用】
  - 移住希望者を対象とした菊川市を案内するツアーの充実
  - 菊川市の魅力の情報の発信【魅力情報の発信】
- など

## 基本目標

## 2

## 適応

## 人口課題に対する持続的なまちづくり

## A 増加する老年人口への対応

超高齢社会においても医療や介護・介護予防サービスを持続的に提供することで、高齢者が不自由なく、いきいきと生活することのできる環境を整備します。また、若い世代から健康づくりを促進し、健康寿命の延伸を図ります。

- ① 若い世代からの健康づくりへの支援
- ② 高齢者施策の充実
- ③ 高齢者を中心とした予防救急などの啓発・広報の強化
- ④ 高齢者の交通手段の確保

## B 減少する年少人口・生産年齢人口への対応

本市出身の県外大学生や移住を希望する市外の社会人などの市内への就職・定着を支援するとともに、AIやIoTなどのデジタル技術を活用した効率化・省力化を推進します。また、就学世代は将来の本市を支える貴重な存在として適切に対応していきます。

- ① Uターンへの支援やIターンへの支援による労働力の確保・企業DXやスマート農業による効率化・省力化の推進
- ② 減少する就学世代への対応

## C 減少傾向が予測される将来推計人口への対応

想定されている南海トラフ巨大地震や近年激甚化する風水害・土砂災害などに対して、人口減少が進むなかでも迅速かつ確かな災害対応ができるよう市民が「自助」「共助」の意識を高め、防災・福祉・消防の連携を図り、地域全体で支え合う体制を維持していきます。

- ① 複数のつながりを活かした地域における防災活動の継続・要支援者支援体制の検討
- ② 常備消防（消防本部）と非常備消防（消防団）の消防力を考慮した消防体制の検討

## D 増加する外国人との共生

総人口における外国人比率が県内でもトップクラスである本市では、引き続き互いの文化の違いを認め尊重し合い、対等な関係を築きながら、地域の担い手として、ともに本市の活性化を図ります。

- ① 多文化共生の推進
- ② 地域の担い手（地域活動などの担い手としての外国人との共生）

## 基本施策

## 2-A 増加する老年人口への対応

## 施策の達成度

指標	基準値 (R7/2025年)	目標値 (R11/2029年)
	1 メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	28.4 %
2 初めて要介護認定を受けた時の平均介護度	1.74	1.74 未満
3 スポーツ教室、スポーツ大会の参加者数	291 人	421 人
4 コミュニティバス1日当たりの利用者人数	178 人	184 人
5 地域包括支援センターにおける総合相談延べ件数	5,275 件	5,288 件

## 主な取組

## ① 若い世代からの健康づくりへの支援

個人が健やかで自立した生活を維持できるよう、若い世代から健康への意識を高めるため、健康づくりに関してライフステージに応じた支援を行っていきます。

## 主な事業名

- 出張健康相談事業の実施【出張健康相談事業】
  - ウォーキングに関する周知や啓発
  - 誰もがスポーツに触れ合うことができる機会の創出
- など

## ② 高齢者施策の充実

高齢者が元気に安心していきいきと暮らし続けることができるよう、高齢期の特性を踏まえた健康づくりや生きがいづくりのほか、介護予防事業などに取り組みます。

## 主な事業名

- 高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の推進【シルバー人材センター補助事業】
  - 在宅医療・介護連携の推進
  - 介護予防に関する講座の開催
- など

## 主な取組

### ③ 高齢者を中心とした予防救急などの啓発・広報の強化

市民一人ひとりの心身の健康や疾病を予防するため、啓発・広報活動などをおして、高齢者の健康維持のほか、家族や地域住民の健康に対する意識向上を図ります。

#### 主な事業名

- インフルエンザや新型コロナなどの予防接種の実施  
【高齢者等予防接種事業】
- 総合検診の実施 【総合検診事業】
- 出張健康相談事業の実施 【出張健康相談事業】 (再掲) など

### ④ 高齢者の交通手段の確保

高齢者が免許返納後も安心して生活できるための交通手段を確保し、高齢者の社会参加を促します。

#### 主な事業名

- コミュニティバスの運行 【コミュニティバス運行事業】
- 生活交通確保のためのバス路線の維持 など

## 基本施策

## 2-B 減少する年少人口・生産年齢人口への対応

## 施策の達成度

指標	基準値	目標値
	(R7/2025年)	(R11/2029年)
1 法人市民税法人割を課税された法人数【再掲】	1,123 法人	1,128 法人
2 地域連携による体験事業の回数	71 回	96 回

## 主な取組

①

## Uターンへの支援やIターンへの支援による労働力の確保・企業DXやスマート農業による効率化・省力化の推進

市外への転出者、市外出身者が菊川市で働くことへの魅力を感じてもらうための機会の創出や経済的負担の軽減のほか、市内企業などへ業務へのデジタルの活用を促進します。

## 主な事業名

- 市内企業見学バスツアーの実施（再掲）
- 地方就職学生支援事業費補助金の活用（再掲）
- 市内中小企業のDX推進へのサポート
- 官民連携による農業DXの推進
- 官民連携による教育DXの推進

など

②

## 減少する就学世代への対応

少子化によって変化する学校環境に対応し、全ての児童生徒がいきいきと学び、成長できるような教育環境を整備するため、学校運営の効率化や地域社会との連携などに取り組みます。

## 主な事業名

- 小中一貫教育「学びの庭」構想の充実
- 中学校区ごとの課題解決にむけた取組【学舎検討課題改善事業】

など

## 基本施策

## 2-C 減少傾向が予測される将来推計人口への対応

## 施策の達成度

指標	基準値 (R7/2025年)	目標値 (R11/2029年)
	1 地域防災訓練の参加者数	12,085 人
2 住宅用火災警報器の設置率	74.0 %	79.5 %

## 主な取組

1

## 複数のつながりを活かした地域における防災活動の継続・要支援者支援体制の検討

地域住民が減少する中でも、「自らの地域は皆で守る」という共助の精神を絶やさぬよう、自主防災会や地区防災連絡会といった防災組織間の連携や、防災意識の啓発に繋がる活動、また関係機関での要支援者に関する情報共有などに取り組みます。

## 主な事業名

- 防災講演会の開催
- 各種防災組織との連携による訓練の実施
- 「茶こちゃんメール」の登録推進
- 避難行動要支援者個別避難計画の作成推進

など

2

## 常備消防（消防本部）と非常備消防（消防団）の消防力を考慮した消防体制の検討

地域住民の誰もが平時有事問わず、安全安心な生活を送ることができるよう、地域の消防力の維持に取り組みます。

## 主な事業名

- 消防団員の確保にむけた消防団員の活動環境整備
- 緊急車両の整備
- 市民への火災予防や応急手当の普及啓発活動

など

## 基本施策

## 2-D 増加する外国人との共生

## 施策の達成度

指 標	基 準 値	目 標 値
	(R 7 / 2025年)	(R11 / 2029年)
1 多文化共生サポーター登録数	37 人	41 人

## 主な取組

## ① 多文化共生の推進

国籍の分け隔てなく、誰もが暮らしやすい環境づくりにむけて、日本人と外国人の相互理解を深めるための機会の創出などに取り組みます。

## 主な事業名

- 日本語学習の機会の提供
  - ボランティア活動を通じた交流の促進
- など

## ② 地域の担い手（地域活動などの担い手としての外国人との共生）

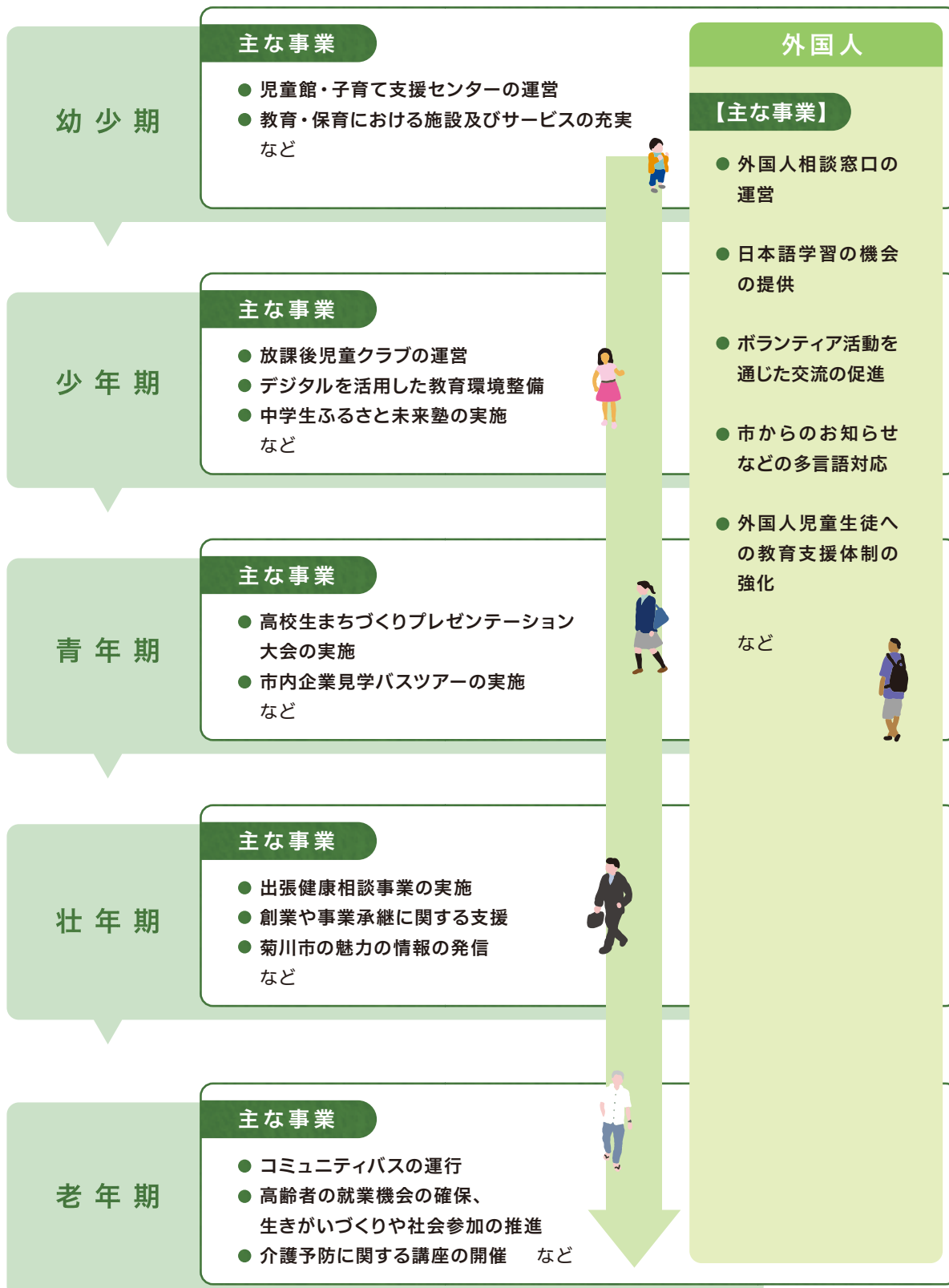
国籍の分け隔てなく、自治会活動など誰もが地域の担い手として活躍ができるような環境づくりにむけて、日常生活を送るうえで不自由さを感じさせない取組を進めていきます。

## 主な事業名

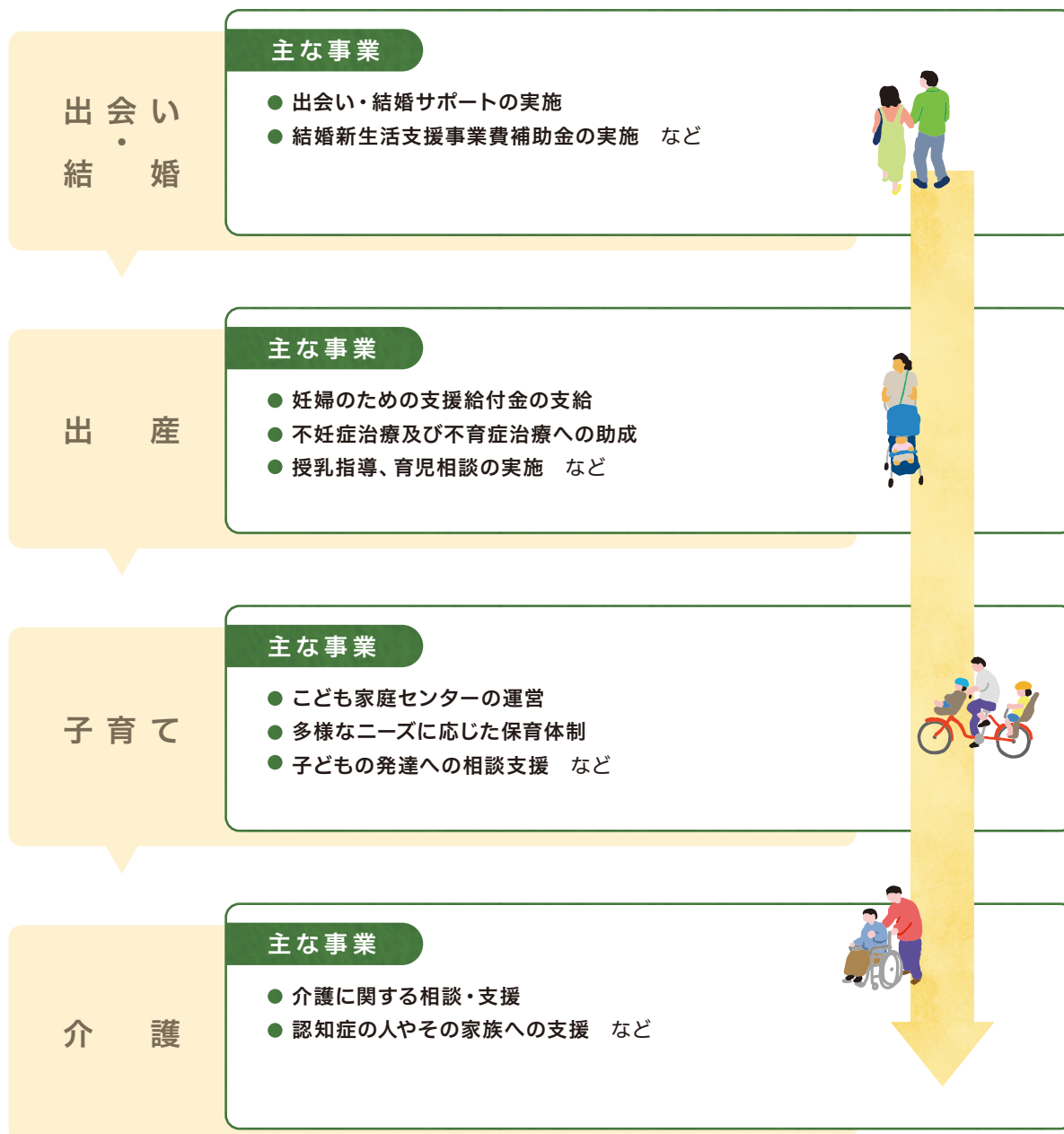
- 外国人相談窓口の運営【外国人相談窓口設置事業】
  - 市からのお知らせなどの多言語対応
  - 外国人児童生徒への教育支援体制の強化
- など

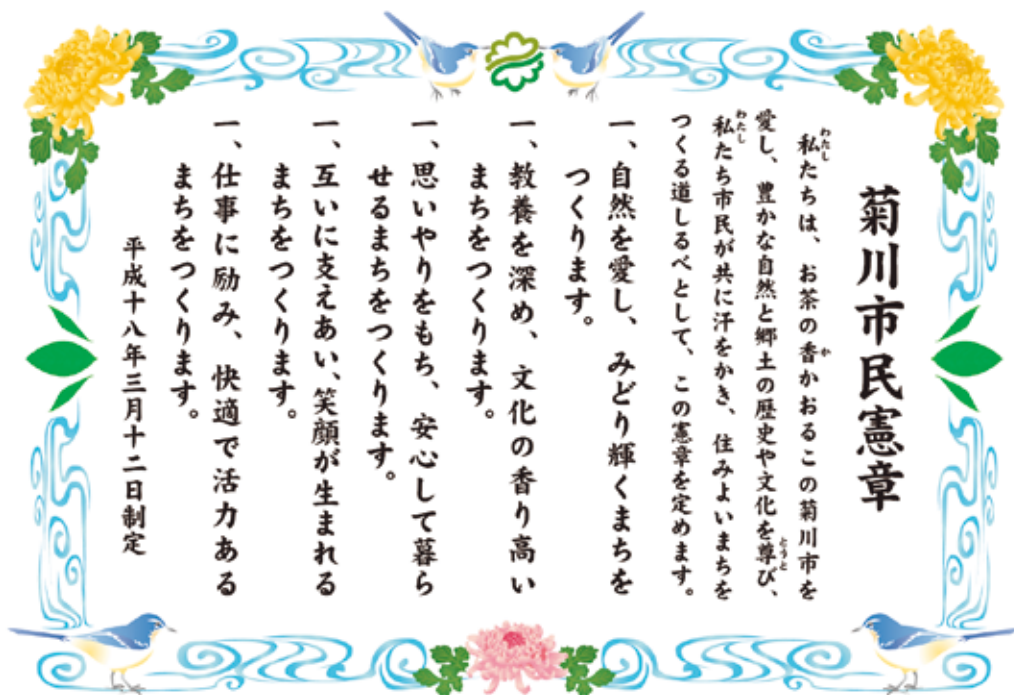
## 4. 年代別・ライフステージの取組一覧

### 1 年代別の取組一覧



## 2 ライフステージの取組一覧





## 菊川市民憲章

私たちは、お茶の香かおるこの菊川市を  
愛し、豊かな自然と郷土の歴史や文化を尊び、  
私たちが共に汗をかき、住みよいまちを  
つくる道しるべとして、この憲章を定めます。

一、自然を愛し、みどり輝くまちを  
つくりまます。

一、教養を深め、文化の香り高い  
まちをつくりまます。

一、思いやりをもち、安心して暮ら  
せるまちをつくりまます。

一、互いに支えあい、笑顔が生まれる  
まちをつくりまます。

一、仕事に励み、快適で活力ある  
まちをつくりまます。

平成十八年三月十二日制定

## 菊川市の市章

菊の花と菊川の流れをモチーフに、2町が合併し一つの市となる様子をデザイン。

菊川茶に代表される自然を生かした産業豊かな市の特徴を、2色の緑で表現している。

現在から未来へと受け継がれる、人と緑が共にいきいきと発展する姿を表現している。



市の花  
菊



市の木  
茶



市の鳥  
キセキレイ



## 第3次 菊川市総合計画

発行

令和8年3月

菊川市 企画財政部 企画政策課

〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

TEL

0537-35-0900

FAX

0537-35-2117

E-mail

kikaku@city.kikugawa.shizuoka.jp

ホームページ

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/>

